

平成 24 年度 おおさかストップ温暖化賞 優秀賞 受賞者 取組み事例

事業者名	株式会社流通サービス		
所在地	埼玉県草加市遊馬町 862-1		
主たる業種	道路貨物運送業		
事業の概要	生活協同組合様の個人宅配、その他店舗物流、一般貨物の運送を行っており、全国 119 事業所を配置し、大阪府内では、10 事業所で展開している。		
温室効果ガスの排出抑制の状況	温室効果ガス総排出量		削減量
	平成 22 年度	平成 23 年度	
	1,547 トン	1,120 トン	427 トン
平成 23 年度に実施した主な対策内容	<p>1 環境に配慮した車種の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境に配慮して L P G 車を導入していたが、最近では L P G を取り扱うスタンドが少なくなってきたことや、排ガス性能及び燃費の良いディーゼル車も出てきたことから、ディーゼル車へ移行している。</li> </ul> <p>2 エコドライブの取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルタコグラフを導入し、急ブレーキ、急発進等の評価を運転手が日々把握することで、燃費が 12.2%改善した。</li> <li>省エネマネジメント推進室と安全運転管理部署（安全教育部・安全運転推進委員会・車輛管理部）が連携して、安全面からエコドライブを推進している。</li> </ul> <p>3 配送支援システムの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>荷主様の注文情報を用い効率の良い配送コースを組む配送支援システムを導入した。</li> <li>配送効率が向上したことによりコースの削減及び 1 車あたりの供給高を向上することが出来た。</li> <li>結果、給油回数が減り、燃料使用量が約 25%削減した。</li> </ul>		
温室効果ガスの排出抑制効果	平成 23 年度に実施した主な対策内容		削減量
	1 環境に配慮した車種の導入		427 トン
	2 エコドライブの取組み		
	3 配送支援システムの導入		
	合 計		427 トン

## 平成 23 年度に実施した対策内容の詳細

### 1 環境に配慮した車種の導入

- ・生活協同組合様の仕事を請けた 18 年前から、環境に配慮して L P G 車を導入していた。最近では L P G を取り扱うスタンドが少なくなってきたことや、排ガス性能及び燃費の良いディーゼル車も出てきていることから、ディーゼル車へ移行しつつある。
- ・ L P G 車と比較するとディーゼル車の方が燃費が良いので、今後移行しても燃料全体の使用量が大幅に増える事は無いと考えております。

### 2 エコドライブの取組み

- ・従業員と管理者を分けてエコドライブの講習を行っている。各事業所の管理者へは、テレビ会議等を用い講習を行い、講習を受けた管理者が事業所で従業員に対して随時講習を行って乗務員の意識を高める活動を行っている。
- ・新入社員に対してもエコドライブ講習を行っている。
- ・運輸省エネマネジメント推進室と安全運転管理部署（安全教育部・教育指導室・安全運転推進委員）が連携して、安全面を中心としたエコドライブを推進している。
- ・全ての乗務員を正社員として雇用し、安全運転を徹底的に意識させるようにしている。
- ・年 2 回、内閣府が行う「全国交通安全運動」期間中に社全体として欠く 40 日間の安全運転期間を設け安全運転総決起集会を開催する。その際にもエコドライブ講習を行っている。
- ・デジタルタコグラフを導入し、燃費と安全運転の管理を行っている。  
走行スピードを一般道 50km、高速道は 80km に設定してこれを超過するとブザーが鳴るようになっている。また、急ブレーキ、急発進、スピード超過の評価が毎日出て、その評価を運転手が把握している。デジタルタコグラフを導入し燃費が 12.2%改善した。
- ・夏のエコアクション強化期間にエコドライブと電力削減を全社で取り組んでいる。
- ・無事故無違反の表彰制度があり、事業所、ドライバー個人単位で表彰している。
- ・年 1 回、無事故無違反・燃費・クレームなしなどドライバーとして総合的に優秀な社員に対して表彰を行っている。

### 3 配送支援システムの導入

- ・生活協同組合様から送られてくる注文情報をカーナビと連動させて、効率よい走行コースを組む配送システムを平成 23 年度より導入した。
- ・配送効率が向上し、4 支所にて 20 コース削減ができた。また、1 コース当たりの供給高として 107%を達成することができた。
- ・手作業では到底不可能な、班配達と個人宅配を一緒に周る「合わせ配達」ができるようになり、1つのエリア内を複数のトラックが走るこゝがなく走行ルートを効率化することができた。
- ・以前は、午前中コースの配達で午後 1 時までかかっていたエリアが、11 時前に配達を終了でき配送時間の削減につながった。
- ・週に 3 回、4 回の給油が 2 回に減り、燃料使用量が約 25%削減した。（軽油と L P G）